

愛労連

愛知県労働組合総連合

名古屋市中区新栄一丁目22-18

TEL 052-262-1377

発行人 阿部 精六

創刊号 1989年12月7日

募集します!

愛労連機関紙の名前を募集しています。どんどんお寄せ下さい

明るく親しまれ、頼りになる そんな愛労連をめざしたい

歴史的なスタートをして 井上議長に聞く

「愛労連は、何をめざすのか」——十一月十七日結成された愛知県労働組合総連合（略称・愛労連）の初代議長に選ばれた井上利雄さんに、インタビュしました。

輝いていた みんなの眼

「愛労連結成大会の雰囲気はどうでしたか」

井上 代議員はじめ、みんなの眼が輝いていましたねえ。くいい入るような感じですね。やっと闘うセンターをつくりあげた……そんなおもしろい話、話している私にも伝わり、胸がジーンとききました。

「労働者の闘いの皆」

「県民の守り手」の誕生

「愛労連が出来た意義

井上 「県下二六〇万労働者のたかひの皆、六六〇万県民の守り手」として闘うセンターが誕生したという事です。

井上 「県下二六〇万労働者のたかひの皆、六六〇万県民の守り手」として闘うセンターが誕生したという事です。

九〇春闘や組織拡大を最重視

ただ働き解消、過労死、争議団支援や権利闘争などにも全力

「顔をしている連合が、いくら数を誇示しても、労働者、県民のためになりませんよ。」

「顔をしている連合が、いくら数を誇示しても、労働者、県民のためになりませんよ。」

出来ればかりで「闘うセンター」の誕生の意義

出来ればかりで「闘うセンター」の誕生の意義

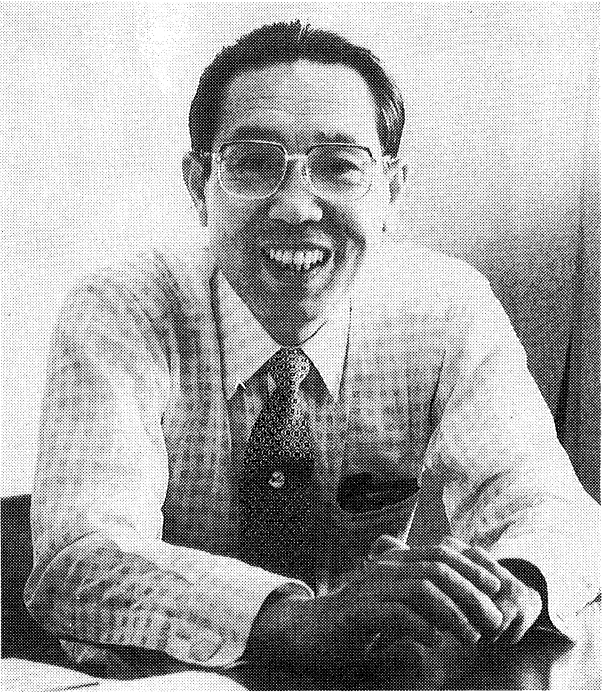
抑えることが重要

抑えることが重要

抑えることが重要

抑えることが重要

抑えることが重要



「闘いのあるところ愛労連の旗あり、といわれるようにがんばりたい」とロマンを語る井上議長

井上議長のプロフィール (52歳)

- ◇労働運動に入った契機
青年部活動と60年安保闘争への参加の中で市職労役員についたこと
- ◇モットー
「まず決意し、そして堅持する。壁にぶつかったら大衆に学べ」(ホーチミン)
- ◇長所・短所
よくいえば楽天的で柔軟性、悪くいえばずぼらで几帳面さにかける
- ◇その他
「ほっとする時」は、風呂に入っているとき。「人生の意気を感じる」のは、仲間と白熱した議論をしながら時。「好きな女優」はクルクル変わるが、今は栗原小巻

「九〇春闘は、愛労連発足の初春闘で、愛労連がこれまでに違った「闘うセンター」としての本領を発揮すべき重要な場です。大企業は史上空前のボロもうけをしているわけですから、大幅値上げや時間短縮の

「九〇春闘までに
十万人組織が目標」
未組織労働者の組織化は

「経営者の顔」した
連合に未来はない

「最後に議長の抱負を
井上 「大いなる可能性の第一歩が始まった」という気持ち一杯です。金も人もまだまだ少ないけれど、みんなでワイワイガヤガヤやりながら運動をつくってゆきたい。試行錯誤を恐れずチャレンジ精神でね豊かな日本の経済にふさわしい生活を誰もが出来るよう、そのため十二分力が発揮できる愛労連となるようにしたいものです。私も議長として、微力ながら先頭に立ってがんばる決意です。」

「ゆく」ことに力を発揮していくことが大事です。争議支援行動などとして痛感することは、独占の経営者に人権感覚、民主感覚が欠如していることです。例えばJRでも中電でもあれだ

「ゆく」ことに力を発揮していくことが大事です。争議支援行動などとして痛感することは、独占の経営者に人権感覚、民主感覚が欠如していることです。例えばJRでも中電でもあれだ

「ゆく」ことに力を発揮していくことが大事です。争議支援行動などとして痛感することは、独占の経営者に人権感覚、民主感覚が欠如していることです。例えばJRでも中電でもあれだ

「ゆく」ことに力を発揮していくことが大事です。争議支援行動などとして痛感することは、独占の経営者に人権感覚、民主感覚が欠如していることです。例えばJRでも中電でもあれだ

最大の課題です。九〇春闘迄には、共同行動を大きくひろげるなかで、十万人の組織化をしたいですね。

最大の課題です。九〇春闘迄には、共同行動を大きくひろげるなかで、十万人の組織化をしたいですね。

最大の課題です。九〇春闘迄には、共同行動を大きくひろげるなかで、十万人の組織化をしたいですね。

最大の課題です。九〇春闘迄には、共同行動を大きくひろげるなかで、十万人の組織化をしたいですね。

全面勝利和解協定

かちとる(組織介入) (分裂攻撃)

川本労組



組織回復へみなぎる決意

12. 2「勝利的和解報告集会」(川本製作所食堂にて)



勝利の酒は格別! (12. 2川本労組報告集会)

会社が非認め陳謝

「今後一切しない(不当労働行為)」ことを明記

画期的な内容

異例のスピード解決

金属単産唯一のまともな労働組合である全日本金属情報機器労働組合への加入

をめぐり、会社と全金一体の組織分裂攻撃と闘ってきた川本製作所労働組合(組合員二〇〇名)は十一月十六日、会社との間で画期的な内容での和解を成立させた。

和解の骨子は別紙の通り

であるが、「不当労働行為を会社が認め陳謝すると同時に、今後、一切会社が不当労働行為を行わない旨約束する」全面勝利の協定となった。

昨年の組織介入以来一年一月、今年の四月四日の分裂以来七月余のきわめて短期間の解決の要因は、①職場でのがんばり、とりわけ分裂攻撃の嵐をはねのけ、拠点の岡崎工場を会社で認め陳謝すること、②まともな組合を総結集した支援共闘会議の結成と活動(議長・成瀬昇)、③地方労働委員会が不当労働行為救済命令の完全勝利、④全日本金属情報機器労働組合へ圧倒的多数の賛成(九割)で加入したこと(本年七月)などである。

職場のがんばりとまともな組合の支援がキメ手に

原田委員長は「他に例をみない早さと内容で和解できたのは、職場のがんばり

とそれを支えたまともな労働組合、労働運動の力で。心から感謝しています

す。今後は必ずや我々が職場における多数派となって御支援をいただいた方々に御礼したい」と喜びと組織回復への決意を語った。

早くも二人が復帰 次は多数派形成だ

十二月二日(土)での川本労組での報告集会では、「大阪営業所より組合員二

名が第一組合に復帰した」ことが発表され、喜びは二重となった。

なお、十二月十八日(月)午後六時半より「名古屋クラウンホテル」で、「川本製作所闘争勝利和解報告集会」(レセプション)が行われる。

和解協定の骨子

第一条(過去の行為について)

- ①社長名で陳謝文を出す
- ②事件の実行責任者である人事担当重役を更迭する。
- ③会社は、中労委への再審査請求をとり下げる。
- ④会社は、組合に和解金を支払う。

第二条(今後の約束について)

- ①会社は、組合の上部団体の加盟、脱退及び組合の運営に関して、人事部ニュースなどで意見表明等一切しない。
- ②今後、会社は管理職などを使い、組合からの脱退や他組合への勧誘等の働きかけは、一切しない。
- ③万一行なった場合は、

事実があらわになれば処分する。

- ④会社はいずれか一方への組合の偏った支援や不当な扱いはせず、中立公平な態度を堅持する。
- ⑤昇給・昇格・査定・異動・時間外労働などに関して差別・不利益扱いは一切しない。
- ⑥特定の組合への加入を採用的条件にしない。
- ⑦今後、労使は正常な労使関係の回復に努める。

「やっぱり、そうか!」
——第30期愛知地労委の労働者委員(七名)は「連合愛知」に独占させる形で知事が最終判断を下した。我々は、こういう事態がある程度予測はしていた。しかし、地労委に、すぐるような思いで救済を申立てている幾人もの仲間の顔が、そしてこの半年、「連合独占による片肺地労委を許してはならない!」と闘ってきた仲間たちの顔が、

地労委労働者委員 連合独占の暴挙

許せない労働者いじめの鈴木県政



怒りをこめ、県知事あての緊急抗議文を手わたす地労委民主化連絡会議のメンバー(11月29日、県秘書課にて)

一瞬、胸をよぎった。腹の底で、怒りの粒々がはじけた。
地労委は、不当な差別や弾圧に苦しむ労働者、労働組合を救済するための機関だ。とりわけ労働者委員は公益側委員や使用者委員とは違って、救済を求める労働者・労働組合に寄り添い、働く者の権利を断固として守る!という姿勢が大切なのだ。だからこそ我々は、半年も前から次の三点を県当局に訴えつづけてきたのだ。

一、11月からはこれまでの労働三団体は解散、「愛労連」と「連合愛知」の二極時代になる。一方の独占を許さず、両方から公平に選べ。
二、救済を申立てる労働者・労働組合のほとんどが反「連合」、非「連

合」という事実をふまえて、差別や弾圧に苦しむ労働者の心のわかる人を選任せよ。
——我々のこの訴えは、立場をこえて多くの人に広がった。県下の、百名をこす法律家も同趣旨の要請書を知事に出した。県議会で追及があり、交渉に応じた県労働部も、我々の主張に一つも反論はできなかった。大義は、我々の側にあったのだ。
しかし、県労働部と知事とは、ギリギリまで選任を延ばしはしたが、やっぱり「愛労連・反連合の排除、連合愛知独占」を強行してきた。
①四十年以上の慣行を無視した全く不公平な決定であり、②闘う労働者の救済を求める権利を奪うもので



なくせ消費税!

「11・26県民集会(前津園)」に 5,000名が燃える